株式会社ニチレイ 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
e-mail：N1000X036@nichirei.co.jp(グループコミュニケーション部 IRグループ 株式担当)

配当金のお支払いについてのご案内

第102期期末配当金は、次のいずれかの方法により、2020年6月25日(木)からお支払い申し上げます。

■口座振込にてお受け取りの株主様

「配当金計算書」および「お振込先について」を同封していますので、ご確認ください。

■株式数比例配分方式をご指定の株主様

「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しています。なお、源泉徴収税額計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の際は、お取引の証券会社等へご確認ください。

■配当金領収証によりお受け取りの株主様

同封の「第102期期末配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の上、最寄りのゆうちょ銀行本支店・出張所および郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2020年6月25日(木)～2020年7月31日(金))にお受け取りください。なお、同封の「配当金計算書」は、配当金をお受け取り後の配当金額のご確認資料としてご使用いただけます。

■次回より口座振込をご希望の場合

証券会社等に口座をお持ちの株主様はお取引の証券会社等にて、特別口座の株主様はみずほ信託銀行にて、それぞれお手続きください。

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120−288−324 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取り扱い(住所変更、配当金受け取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		●みずほ証券　本店および全国各支店 (プラネットブースでもお取り扱いいたします) ●みずほ信託銀行　本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行およびみずほ銀行　本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支払明細の発行	みずほ信託銀行　証券代行部(フリーダイヤル　0120−288−324)にご相談ください。	

単元未満株式をお持ちの株主様へのご案内

■単元未満株式は市場で売買できません。買取・買増については、お取引の証券会社等にご相談ください。

■特別口座にある株式の買取・買増については、みずほ信託銀行にご相談ください。
(特別口座では単元株の売買ができないため、売買をご希望の方は、証券会社等に口座を開設し株式を振り替えていただく必要があります)

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org
PRO-WE PROJECT-With the Earth この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT-With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

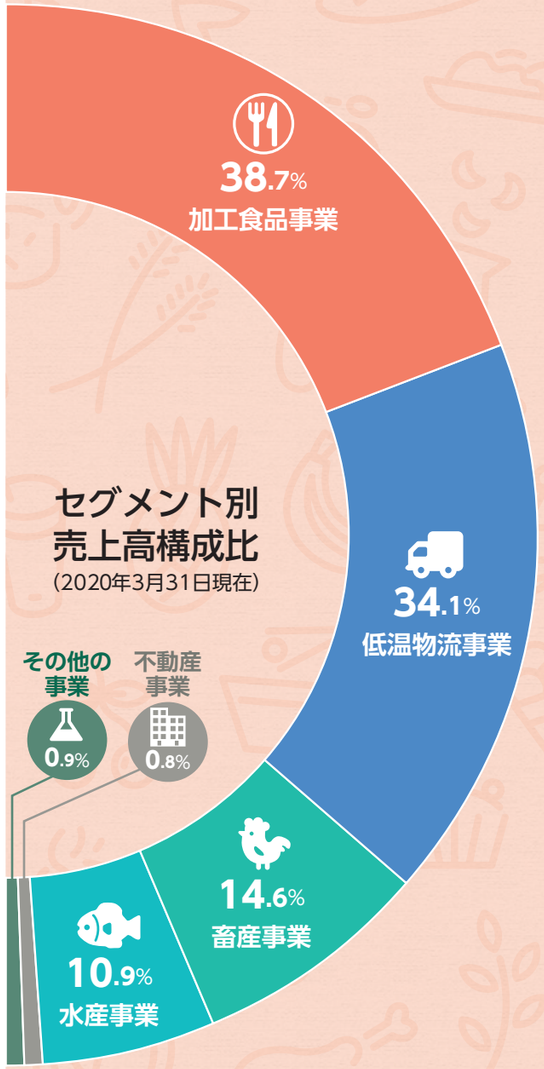
HOPPE ほっぺ

Vol.44

ニチレイ

第102期 グループ報告書
2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社ニチレイ　証券コード：2871



セグメント別
売上高構成比
（2020年3月31日現在）

おいしい瞬間を届けたい

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する

ビジョン【目指す姿】

私たちは地球の恵みを活かしたものづくりと、
卓越した物流サービスを通じて、
豊かな食生活と健康を支えつづけます。

株主の皆様へ

環境変化への迅速な対応で、持続的成長へ

代表取締役会長　大石邦夫
代表取締役社長　大櫛顕也

第102期グループ報告書をお届けするに当たり、日頃のご支援に厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、そして感染拡大により困難な生活環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、前期のわが国経済は、企業業績や雇用所得環境が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率の引き上げや相次ぐ自然災害により個人消費が低迷しました。

食品業界では、ライフスタイルの変化により「食の外部化」が進展し、中食市場が拡大する一方、人件費や物流費の高騰、原材料価格の上昇などコストアップ要因が深刻化しました。また、食品物流業界においては、労働力不足が一層顕著となるなか、省人化のための技術開発や機器導入へ向けた取り組みが加速しました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画「WeWill 2021」（2019年度～2021年度）の初年度として、主力事業を中心に足元の環境変化に対応しつつ、「豊かな食生活と健康を支える新たな価値の創造」の実現に向けた施策に取り組みました。

加工食品事業では、主力商品を中心に経営資源を投下し、商品開発や販売活動に注力するとともに、継続的な生産性改善とコストダウンに努めました。低温物流事業では、大都市圏を中心に旺盛な保管需要を着実に取り込むとともに、運送効率向上や庫内作業デジタル化などの業務革新に取り組みました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により景気は急速に悪化し、先行きも極めて厳しい状況が続くと見込まれるなか、生活を支える社会的基盤として食料品の安定供給が求められています。当社グループにおきましては、外出自粛要請から急増している内食・中食需要に応えるべく、従業員を含むサプライチェーンの安全に十分配慮したうえで、食品の製造・加工、保管・流通を担う事業拠点の活動を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月吉日

グループ中期経営計画「WeWill（ウィーウィル） 2021」初年度の最後にやってきた、新型コロナウイルスの感染拡大という未曽有の事態。
ライフスタイルや食生活も変化を余儀なくされる先行き不透明な状況の中、どのようにグループのかじ取りをして計画達成を目指すのか。
大櫛顕也社長に聞きました。

トップインタビュー

株式会社ニチレイ 代表取締役社長
大櫛 顕也

Q1 「WeWill 2021」の初年度の成果は。

A1 主力の加工食品事業と低温物流事業が好調で、グループ全体の営業損益は前期比で増収増益となり、良いスタートが切れました。水産事業と畜産事業、バイオサイエンス事業が利益の面でやや苦戦したのですが、加工食品事業が計画を超える増収増益で全体をけん引し、最終的にプラスの結果が出せました。

加工食品事業の好調の主な要因は、まずは、食の外部化の進展があります。それに加え、家庭用冷凍食品については年度を通じてテレビCMを増やし、販売促進を強化しました。新しく手に取っていただくお客様が増え、リピーターとして定着していったことで、売り上げが大きく伸びたのではないかと思います。主力カテゴリーである米飯とチキン加工品の売れ行きが、特に好調です。

低温物流事業については、取り扱い物量の増大と適正料金の収受が、増収増益の主な要因です。国内の各物流センターは、設備能力のほぼ上限まで稼働しています。さらに、人手不足などによるコスト増について、お客様に丁寧にご説明することで適正料金での取引にご理解をいただくという、現場の地道な取り組みが実を結び、増収に貢献したと考えています。

Q2 一方、今期（2019年度）の課題とその背景は。

A2 水産事業については、採算性重視の事業構造への変革の途上にあるため、今期は増収まで至りませんでした。畜産事業は、業界全体がチキンの需要増を見込んだことから、供給過多による値崩れが響き、減収減益という結果になりました。バイオサイエンス事業では、分子診断薬事業拡大を意図して米国企業を買収しましたが、その経費がかさんだことが収支に影響しました。それぞれ、計画を修正し取り組んでまいります。

また、設備投資がやや遅れ気味になっていることも課題です。加工食品事業と低温物流事業で需要が計画を上回り、2019年度は高稼働で推移したため、設備更新を計画より後ろにスライドしたことなどが主な要因です。設備投資は次の成長の基盤づくりに重要な投資ですので、しっかりと計画を組み直して目標達成を目指します。

Q3 「WeWill 2021」の柱の一つである海外事業拡大は。

A3 加工食品事業については、北米の販売会社イノバジアン・クイジーンが好調のため、生産機能を拡充していこうとしています。主力カテゴリーの米飯とチキン加工品が特に好調なので、当面はその分野に注力し、独自商品の開発なども進めてお客様に新たな提案をしていきたいと考えています。

欧州での低温物流事業については、自社での設備の新設・拡充と、現地企業との業務提携の二本柱で業務拡大を進めています。

M&Aや業務提携については相手企業との交渉に左右されることもあり、2年目以降で計画ラインに乗せられるよう調整していく予定です。

Q4 新型コロナウイルス感染症拡大の事業への影響は。

A4 外出自粛で、家庭用冷凍食品やスーパーの惣菜などの中食需要は拡大しています。

一方、業務用の外食産業は需要が大幅に減っており、非常に厳しい状況となっています。各事業にさまざまな影響があり、先の見通しが難しい状況ですが、中期経営計画の大きな方針には変わりはありません。その上で、社会の状況変化を注視し、柔軟に事業に生かしていく判断が重要だと考えています。

Q5 感染拡大下での働き方の変化とその効果は。

A5 まずは従業員の安全と健康を守る対策を最重視しています。昨年夏から段階的に導入したテレワークも定着してきました。ただ、生産や物流を支える工場や冷蔵倉庫では、テレワークが難しい職種の従業員も多いため、感染防止対策や働き方支援をさらに検討中です。

テレワークが否応なく進展したことで、思いがけないメリットもありました。市場の変化が激しくニーズの多様化が進む現在、経営判断には全体の動きを知るマクロ情報とともに、現場で働く一人ひとりの持つミクロの情報が非常に重要になります。従来は報告書にまとめられたものを会議で共有するのが一般的でしたが、コミュニケーションツールの活用が進み、リアルタイムで情報交換ができるようになったことは驚きです。情報共有のスピードは、まだまだ速める余地があることを実感しています。

今回の新型コロナウイルス感染症の問題が収束しても、以前と同じ市場環境が戻るとは考えていません。この未曽有の経験は、生活者のライフスタイルを確実に変化させるでしょう。その変化によって生まれるニーズをいち早くキャッチし、新たな商品やサービスで生活者の期待に応えていくために、ミクロ情報のスピード化は、強い味方となってくれると思います。

Q6 今後の感染症や自然災害などへの備えは。

A6 今回の経験をもとに、感染症拡大時のBCP(事業継続計画)を整備したいと考えています。大震災のBCPは整備していますが、感染症拡大への対応は震災時とは全く違うことを痛感しました。近年は台風や水害などの自然災害も増えているため、考えられるリスクについては指揮系統などの方針を整備し、迅速で効果的な初期対応ができるよう備えたいと思います。いずれの場合も、リスクは過小評価せず、最大に見積もって計画を立てていくことが重要と考えています。

Q7 「2030年の姿」実現のために重視することは。

A7 企業のSDGs対応についての社会からの要請やESG投資への注目度が、この数年で非常に高まっています。ニチレイグループは、比較的早い時期からSDGsに注目し、従業員の認知も進んでいます。次の段階として今後は、持続可能な社会の実現のために、グループとして何をしていくのかをより明確に示し、実行していくことが、長期経営目標「2030年の姿」の実現につながると考えています。

そのために、地球環境や人権課題の改善など持続可能な社会の実現に不可欠な方針を、事業の根幹に組み込んでいきます。今春、2030年に向けて取り組むべき「重要事項(マテリアリティ)」を特定しました。「食と健康における新たな価値の創造」「食品加工・生産技術力の強化と低温サービスの高度化」「持続可能な食の調達と資源循環の実現」「気候変動への取り組み」「多様な人財の確保と育成」という5つの重要事項を明示し、グループ全体で取り組んでいきます。

Q8 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A8 「WeWill 2021」初年度をほぼ計画通りの結果で終えられ、応援してくださった株主の皆様に感謝しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で先行きはかなり不透明ですが、ニチレイグループの掲げるミッション・ビジョンは、どんな状況でも揺らがないものと考えています。その理念をしっかり持ちつつ、変化する状況には柔軟に対応し、「WeWill 2021」の目標達成を目指していく所存です。この、グループのかじ取りは私の役割ですが、最終的には一人ひとりの従業員の自律と行動力が組織の原動力となります。テレワークの中で、モニター越しではありますが、直接つながった従業員たちからは前向きな強いパワーを感じました。このパワーを最大限生かせる組織づくりを目指し、成長を続けていきたいと考えています。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

AIを活用した最適生産・要員計画自動立案システムの運用開始

生産・要員計画を確認するスタッフ

㈱ニチレイフーズは、AIを活用して最適な生産計画と要員計画を自動立案するシステムを㈱日立製作所と協創し、国内4拠点の工場に導入、2020年1月から運用を順次開始しています。

本システムは、熟練者が複雑な制約条件をもとに立案していた計画を、高度なAI技術により再現・進化させるものです。例えば要員計画の作成には「法規制」のほか、「個々の力量」「残業、有休」などさまざまな条件を考慮する必要があり、これまでは熟練者が経験に基づく勘に頼って、「なるべく、できるだけ」それらの条件に配慮しながら計画を作成していました。

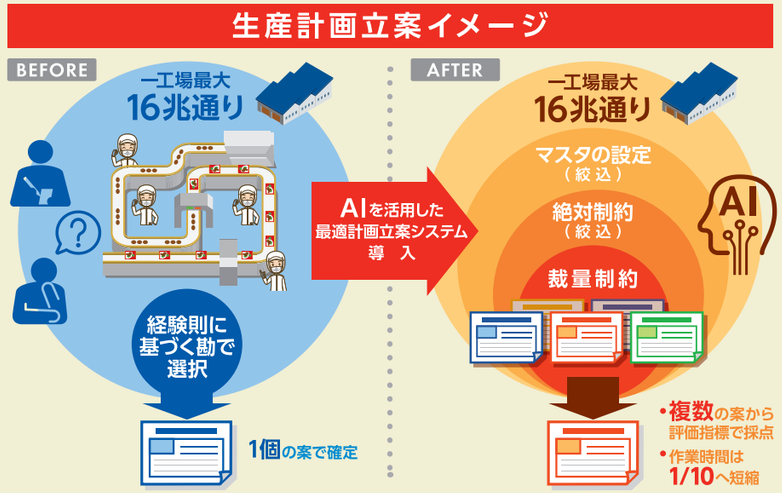
今回、こうした「なるべく、できるだけ」という感覚までもAI技術を用いて数値化し、さまざまな組み合わせの中から最適解を自動立案することに成功。これにより計画立案にかかる時間を従来の10分の1程度に短縮することができるほか、熟練者以外の従業員も計画を作成できることから、労働時間の低減や休暇取得の向上など「働き方改革」の一助となることが期待されます。

また、近年、食品メーカーでは、需要変動に対応して商品を生産・供給することが求められるため、先進のデジタル技術を活用し、効率の良い生産体制を構築することで、顧客満足度の向上にも寄与します。

今後は、国内11工場や海外工場にも順次展開・拡大していきます。

㈱ニチレイフーズはこれからもデジタル技術の活用を通じて、生産性向上、リードタイム短縮、在庫圧縮への取り組みや働き方改革をさらに推進してまいります。

AIを活用した「最適生産・要員計画自動立案システム」のイメージ



1工場で最大16兆通りの組み合わせがある中から、日別のラインごとの生産商品・生産量などの生産計画、作業者のシフトスケジュールなどの要員計画を自動立案。

「極上ヒレかつ」新CMがスタート

㈱ニチレイフーズは、この春イチ押しの新商品「極上ヒレかつ」のテレビCMとWEB動画を放映しています。

「極上ヒレかつ」は、プロの製法にならいお肉を丁寧に下ごしらえすることで、箸で切れるほどやわらかな肉質に仕上げました。さらに、こだわりの生パン粉を使用し、サクッとした食感を実現。専門店の品質をレンジ調理で手軽にお楽しみいただけます。

CMキャラクターは「本格炒め炒飯®」でもおなじみの深田恭子さんです。とんかつ屋の看板娘に扮した深田さんが、“揚げずにおいしい本格品質”を、可愛らしいしぐさと幸せそうな表情で表現しています。

この機会に「極上ヒレかつ」のおいしさを、ぜひ実感してみてください！

とんかつと言えばロケ弁とかで食べることが多いのですが、あんなにサクサクしたとんかつは初めて食べました！ すごくおいしく撮影をすることができました。

素材の味を活かしているから、様々なメニューにアレンジできます。

極上ヒレかつブランドサイトも是非ご覧ください！
https://www.nichireifoods.co.jp/brand/hirekatsu/

2020年 春季新商品・リニューアル品

リニューアル品

「本格炒め炒飯®」

冷凍炒飯19年連続売上No.1※の「本格炒め炒飯®」は、この春さらなるおいしさを追求したリニューアルを行いました。

プロの料理人の調理法にならって卵の炒め方を改良しています。

卵の香ばしい風味とパラパラの炒め感、ゴロゴロ焼豚が特徴の「本格炒め炒飯®」をぜひご賞味ください！

※冷凍調理・炒飯カテゴリー販売金額（累計）
インテージSRI（2001年3月～2020年2月）

新商品

「なんこつ入り鶏つくね」

コリコリした食感のやげん軟骨が入った鶏つくねです。丁寧に手で形を整え、ふっくらやわらかに仕上げています。甘いタレと香ばしい香りが食欲をそそる、おかずとしても、おつまみとしても使える便利な商品です。

次世代アスリートをお肉で応援する「MIRAI MEAT™（ミライミート）」プロジェクトを実施

㈱ニチレイフレッシュは、次世代アスリートをお肉で応援する新プロジェクト、「MIRAI MEAT™」を実施しました。

「MIRAI MEAT™」は、未来へ向けて、夢に向かって頑張っている次世代のアスリートをこだわりの畜産品「亜麻仁の恵み®」シリーズで応援するプロジェクトです。

トップアスリートには、ハードなトレーニングのほか、身体づくりや疲労回復、ウエイトコントロールのための質の高い食事が不可欠です。㈱ニチレイフレッシュは、次世代の新しい才能を食の面からサポートしたいという思いから本プロジェクトを立ち上げました。

審査の結果、2020年3月に5名の次世代アスリートを選出。1年間にわたり「亜麻仁の恵み®」シリーズの牛肉・豚肉・鶏肉を合計で、1人につき約70kgを提供してまいります。

画像はイメージです。
本プロジェクトは募集を終了しました。

「亜麻仁の恵み®」とは

「EAT for FORWARD. 未来のために食べる」をコンセプトに、オメガ3系脂肪酸を豊富に含んだ“アマニ”成分を加えた飼料で育てたお肉のこと。

業務用水産加工品「だしの恵み®」シリーズ 新発売

㈱ニチレイフレッシュは、だしのうま味を活かした業務用水産加工品「だしの恵み®」シリーズを発売しました。

日本では、一人当たりの年間魚介類消費量が年々減少しています。これは、魚介類の下ごしらえや調理に手間がかかったり、特有の魚臭さが敬遠されている事などが理由に挙げられています。

しかし、健康面などを考えると、魚介類をもっと摂取したいという消費者意識が高まっているのも事実です。

これらの課題解決に向け、㈱ニチレイフレッシュはだしのうま味や効能に着目しました。

天然の鰹と昆布から抽出しただしには、魚介類の臭みを抑える効果があります。また、だしのうま味で下味をつけることにより塩味をひかえながら、素材の味とだしの風味をより引き立たせています。

世代を問わず人気のある唐揚げとして「えび唐揚げ」「さんま竜田揚げ」「いわし竜田揚げ」「さば竜田揚げ」の4品を発売。えびは殻ごと全部食べられ、魚は大きな骨を取り除き食べやすく仕上げました。

揚げるだけの時短調理なので、人手不足が顕在化している業務用ルートを中心にご提案し、今後は商品カテゴリーの拡充も図ってまいります。

えび唐揚げ　さんま竜田揚げ　いわし竜田揚げ　さば竜田揚げ

メニュー画像はイメージです。

㈱キョクレイ 大黒物流センター

㈱キョクレイ 太陽光発電システムを導入

ニチレイロジグループで地域保管事業を担う㈱キョクレイは、地球環境に配慮したCO_2排出量削減活動の一環として、大黒物流センター（神奈川県）に太陽光パネルを設置しました。

2018年に設置された咲洲（さきしま）物流センター（大阪府）、2017年に設置された松江物流センター（島根県）および釧路物流センター（北海道）での太陽光パネルの稼働と合わせた発電電力量は、年間約165万kwhを見込み、年間約753tのCO_2排出削減につながります。

環境負荷の少ない太陽光パネルを用いた発電設備を設置し、再生可能エネルギー電力を自家消費できる体制を構築することで自然エネルギーの自給率を高め、持続可能な社会の実現を目指します。

(株)ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング

第22回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞「審査委員会特別賞」を受賞

低温物流設備の設計・施工・管理事業を担う㈱ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリングは、㈱日刊工業新聞社が主催する 第22回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞において「審査委員会特別賞」を受賞しました。

今回の受賞は、フロン漏えい箇所の傾向分析に基づいた効率的な点検を実施することで、フロン漏えい削減とCO_2排出抑制を大きく進めたことについて評価されたものです。

2012年に専門チームを結成し、冷凍設備点検実績に基づくフロン漏えい箇所の傾向分析を開始。重点箇所への点検強化や自然冷媒機の導入などを進めた結果、2018年度は2012年度に比べ、漏えい量では52%（CO_2換算）の削減に成功しました。

今後も冷凍設備の保守および修繕計画提案といった品質管理、省エネ提案およびローコスト購買によるコスト削減など、お客様のご要望にお応えしながら、さらなる環境負荷逓減を図ってまいります。

左：関屋章 審査委員長
右：井藤勉 ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング社長

㈱キョクレイがハラール認証を取得

㈱キョクレイは2019年12月24日付けで、NPO法人 日本ハラール協会より物流サービスの分野で倉庫のハラール認証を取得いたしました。

＜概要＞

認証倉庫	株式会社キョクレイ　山下物流センター
所 在 地	〒231-0023　神奈川県横浜市中区山下町278番地2
温 度 帯	冷凍・冷蔵

ハラール認証書

◆ハラール認証とは？

認証機関によりイスラム法に準拠した安心できる物・サービスに付与される認証のことを言います。

NEWS

「健康経営銘柄2020」に初選定

㈱ニチレイは、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2020」に初めて選定されました。

「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場会社の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組んでいる企業を選定するものです。

当社グループは、従業員の健康を重要な経営課題として位置づけ、推進部署として「ニチレイ健康推進センター」を設置。健康保険組合、労働組合と活発に意見交換を行いながら、さまざまなコラボヘルスに取り組んだ結果が評価されました。

食と健康を支える企業として、今後も従業員一人ひとりの健康づくりに積極的に取り組んでまいります。

2020 健康経営銘柄 Health and Productivity

「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に17年連続で選定

㈱ニチレイは、ESG指数の構築と管理において世界をリードする企業であるFTSE Russellが開発した「FTSE4Good Index Series」で、2003年度から17年連続で構成銘柄として選定されました。併せて、2017年度から始まった「FTSE Blossom Japan Index」にも3年連続で選定されています。

これからも持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、適切な情報開示に努めてまいります。

「FTSE4Good Index Series」とは

英国のロンドン証券取引所が100%出資する独立企業FTSE Russellが開発した指数で、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に関する世界基準を満たす企業を構成銘柄とした指数

FTSE4Good

「FTSE Blossom Japan Index」とは

FTSE Russellが開発した指数で、FTSE Japan Index(親指数)構成銘柄の中で、ESGに関してグローバル基準を満たす日本企業を構成銘柄とした指数

FTSE Blossom Japan

連結決算ハイライト

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

2020年3月31日現在

(単位:百万円)

区　分	金　額
流動資産	170,308
固定資産	219,696
資産合計	**390,004**
流動負債	108,419
固定負債	90,196
負債合計	**198,615**
株主資本	175,421
その他の包括利益累計額	9,082
非支配株主持分	6,884
純資産合計	**191,388**
負債純資産合計	**390,004**
設備投資等の金額※	**27,287**
有利子負債(リース債務除く)	**96,351 (80,669)**
1株当たり純資産額	**1,384円90銭**

連結損益計算書(要旨)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:百万円)

区　分	金　額
売上高	**584,858**
営業利益	**31,035**
経常利益	**31,777**
税金等調整前当期純利益	**29,792**
当期純利益	**20,784**
親会社株主に帰属する当期純利益	**19,609**
減価償却費	**18,355**
研究開発費	**2,486**
1株当たり当期純利益	**147円16銭**

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:百万円)

区　分	金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	**39,441**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△24,300**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△10,225**
現金及び現金同等物の期末残高	**25,434**

※設備投資等の金額は、有形固定資産および無形固定資産に係る投資額の合計金額です。

会社概要 (2020年6月24日現在)

社　名	株式会社ニチレイ
所在地	〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
設　立	1942年12月※
役　員	代表取締役会長　大谷邦夫
	代表取締役社長　大櫛顕也
	取締役執行役員　田口巧
	取締役執行役員　金子義史
	取締役執行役員　川﨑順司
	取締役執行役員　梅澤一彦
	取締役執行役員　竹永雅彦
	社外取締役　鵜澤静
	社外取締役　鰐渕美恵子
	社外取締役　昌子久仁子
	常勤監査役　滋野泰也
	常勤監査役　安田一彦
	社外監査役　齊藤雄彦
	社外監査役　朝比奈清
	社外監査役　清田宗明
	執行役員　宇田川辰雄
	執行役員　三木一德
	執行役員　武永正人
	執行役員　狩野豊
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー

※前身の帝国水産統制株式会社の設立年月
1945年12月 日本冷蔵株式会社に改組

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 …… 360,000,000株

発行済株式総数 …… 139,965,587株
(うち自己株式 6,739,790株)

単元株式数 …… 100株

株主数 …… 18,918名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,656	15.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,694	9.5
日本生命保険相互会社	5,744	4.3
株式会社みずほ銀行	3,813	2.9
株式会社三菱UFJ銀行	3,406	2.6
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,799	2.1
株式会社日清製粉グループ本社	2,719	2.0
農林中央金庫	2,675	2.0
第一生命保険株式会社	2,323	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	2,229	1.7

(注)1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2.持株比率は、自己株式(6,739千株)を控除して計算しています。
小数点第2位で四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定日	定時株主総会・期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
上場証券取引所	東京(第一部)
証券コード	2871
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告により行います。公告掲載場所は当社ホームページhttps://www.nichirei.co.jp/とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載します。

上場株式等の配当等に係る税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止されており、今回の第102期期末配当金の税率は本則税率となります。また、2037年12月31日までは、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。具体的な税率は下表をご参照ください。

■上場株式等の配当等に係る税金と税率

	2037年12月まで	2038年1月以降
所得税	15.315%	15%
復興特別所得税		–
住民税	5%	5%
合計	20.315%	20%

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますのでご注意ください。
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。

株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新IRニュース、最新の決算発表情報をご覧いただくことができます。また、個人投資家向け情報サイトでは、個人投資家説明会時の決算資料をはじめ、ニチレイグループのことをわかりやすく紹介しています。

●ニチレイメーリングサービス
ニチレイWebサイトの更新情報や新商品の情報を、電子メールでも受け取ることが可能です。登録は無料ですので、どうぞご利用ください。

https://www.nichirei.co.jp/ir/

個人投資家向け情報サイトへは、こちらからアクセス可能です。